

身近な幸せ 50選

県民投票 花はす公園などPR

「幸福度日本一」とされる県は、幸せを感じられる身近な場所などを選ぶ「県民投票」を行い、50点を「福井しあわせセレクション」として決めた。県立恐竜博物館（勝山市）や東尋坊（坂井市）などで、県外にアピールし、県民の幸せの実感にもつなげられるよう活用を図る。（中田智香子）



半夏生サバ

県立恐竜博物館



花はす公園



東尋坊



恋人の聖地」の碑

幸福を感じる「聖地」逸品「エピソード」の各分野について、363件の応募から県民投票数と審査員の投票数を合わせた得票順で計50件を選定した。花はす公園（南越前町）など場所のほか、半夏生のサバや越前水仙といった物産や植物など13点、エピソードでは、大家族が集う姿や、元気な子どもたちの日常など6点が票を集めた。

4月27日に開かれた、県内企業の代表らを招いた意見交換会では、「しあわせセレクション」を県の認知度向上などに生かすための策が話し合われた。訪れた人々に、いかにソーシャル・ネットワークキング・サービス（SNS）で魅力を広めてもらうかが鍵とし、写真を撮って発信したくなるような工夫が必要だとした。

今後は、選ばれた場所を巡る観光ルートの整備を進めるといふ。縁結びコースとしては、山頂公園が「恋人の聖地」として知られるレインボークラインと三方五湖（美浜町、若狭町）、縁結びにご利益があるという若狭彦・若狭姫神社（小浜市）、健康長寿コースでは気比神宮（敦賀市）や桃源清水（鯖江市）など、テーマに沿った4つの案が挙げられている。